



# 2016年12月期 第3四半期 決算説明資料

---

2016年 11月 10日  
富士ソフト 株式会社



# 目次

---

## 2016年12月期第3四半期 決算

- P2. 連結業績ハイライト
- P4. 主なグループ会社売上高・営業利益
- P5. 連結セグメント別売上高・営業利益
- P6. 連結損益計算書
- P7. 連結貸借対照表
- P8. 連結キャッシュ・フロー計算書
- P9. 連結S I事業の受注高・受注残高



# ● 連結業績ハイライト① (3Q累計実績)

## 売上高はシステム構築分野の好調により増収

◇売上高は、機械制御系をはじめとしてシステム構築分野が好調に推移し、前年同期比105.3%の122,456百万円となりました。

## 営業利益は増収により増益

◇営業利益は、増収により、前年同期比104.0%の6,407百万円となりました。

◇経常利益は、持分法投資利益の減少などにより、前年同期比97.5%の6,489百万円となりました。

◇親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失の減少により前年同期比101.2%の3,604百万円となりました。

(単位:百万円)

	2015年12月期 3Q累計実績	2016年12月期 3Q累計実績	前同差	前同比	2016年12月期 3Q累計計画	計画比
売上高	116,261	122,456	+6,194	105.3%	118,850	103.0%
営業利益	6,158	6,407	+249	104.0%	6,210	103.2%
営業利益率	5.3%	5.2%			5.2%	
経常利益	6,654	6,489	△ 165	97.5%	6,320	102.7%
経常利益率	5.7%	5.3%			5.3%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,562	3,604	+41	101.2%	3,640	99.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	3.1%	2.9%			3.1%	

# ● 連結業績ハイライト② (3Q区間実績)

## 売上高は前年同期比106.5%と増収

◇引き続き機械制御系などが好調に推移し、前年同期比106.5%の40,606百万円となりました。

## 売上原価率は前年同期より1.0%増加

◇一部の不採算案件の影響により前年同期より1.0%増加し、76.8%となりました。

## 販売費及び一般管理費は前年同期より529百万円増加

◇人員体制の整備計画実施や待遇改善による人件費の増加、営業強化に伴う経費増加、税制改正による事業税の増加などにより、前年同期より529百万円増加し、7,043百万円となりました。

## 営業利益は前年同期比87.9%と減益

◇上記の結果、営業利益は前年同期比87.9%の2,360百万円となりました。

(単位:百万円)

	2016年12月期 2Q累計実績	前同差	前同比	2016年12月期 3Q区間実績	前同差	前同比
売上高	81,849	+3,709	104.7%	40,606	+2,484	106.5%
売上原価	62,783	+2,375	103.9%	31,202	+2,279	107.9%
売上原価率	76.7%	Δ0.6%		76.8%	+1.0%	
売上総利益	19,066	+1,333	107.5%	9,404	+205	102.2%
販売費及び一般管理費	15,019	+760	105.3%	7,043	+529	108.1%
営業利益	4,046	+573	116.5%	2,360	Δ324	87.9%
営業利益率	4.9%	+0.5%		5.8%	Δ1.2%	



# 主なグループ会社売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2016年 12月期	売上高	営業利益	
富士ソフト	3Q累計実績	75,405	3,912	売上高は、機械制御系ソフトウェア開発や金融業向けソフトウェア開発などが好調に推移し、増収となりました。営業利益は、積極的な営業展開により受注が拡大したなかで発生した不採算案件や、人員体制の整備・待遇改善による人件費の増加、税制改正による事業税の増加などにより減益となりました。
	前同差	+5,682	△ 66	
	前同比	108.1%	98.3%	
サイバネットシステム	3Q累計実績	12,333	917	売上高は、円高の影響により海外では前年同期を若干下回ったものの、国内でのMechanical CAE分野、光学設計分野、モデルベース開発エンジニアリングサービス、セキュリティ関連ソリューションが好調に推移し、増収となりました。営業利益は、増員により人件費が増加したものの、増収により増益となりました。
	前同差	+541	+317	
	前同比	104.6%	152.9%	
サイバーコム	3Q累計実績	7,086	315	売上高は、制御系ソフトウェア開発や業務系ソフトウェア開発が好調に推移し増収となりました。営業利益は、採用や技術者教育の強化などの先行投資の増加や、退職給付費用の増加があったものの、増収効果によりほぼ前年並みとなりました。
	前同差	+622	△ 0	
	前同比	109.6%	99.7%	
ヴィンクス	3Q累計実績	19,890	1,004	売上高は、新規大型案件受注が進んでいるものの、主要顧客の開発案件減少を補えず、前年を下回りました。営業利益は、減収や研究開発・製品投資強化により、前年を下回りました。
	前同差	△ 1,589	△ 250	
	前同比	92.6%	80.0%	
富士ソフト サービスビューロ	3Q累計実績	5,819	107	売上高は、官公庁や地方自治体向けコールセンター案件を中心に、前年並みに推移しました。営業利益は、新規大型案件の受注に関する先行的な費用が発生し、減益となりました。
	前同差	+43	△ 12	
	前同比	100.8%	89.5%	

※サイバーコム、ヴィンクス、富士ソフトサービスビューロは3月決算であり、「2016年12月期3Q累計実績」欄に2016年1～9月の実績を記載しています。



# 連結セグメント別売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2016年12月期売上高		前同差	前同比	2016年12月期営業利益		前同差	前同比
	3Q累計実績	構成比			3Q累計実績	営業利益率		
全社計	122,456	100.0%	+6,194	105.3%	6,407	5.2%	+249	104.0%
SI事業	114,145	93.2%	+5,957	105.5%	5,586	4.9%	+220	104.1%
システム構築	67,437	55.1%	+3,854	106.1%				
組込系／制御系ソフトウェア	35,040	28.6%	+4,309	114.0%				
業務系ソフトウェア	32,397	26.5%	△ 455	98.6%				
プロダクト・サービス	46,708	38.1%	+2,103	104.7%				
プロダクト・サービス	34,139	27.9%	+2,696	108.6%				
アウトソーシング	12,568	10.3%	△ 593	95.5%				
ファシリティ事業	2,028	1.7%	+196	110.7%	687	33.9%	+40	106.2%
その他事業	6,281	5.1%	+40	100.6%	134	2.1%	△ 9	93.5%

## セグメント別売上高のポイント

### ●組込系／制御系ソフトウェア

自動車やFAなどの機械制御系、電力や航空・宇宙分野などが好調に推移したことにより、モバイルや通信制御の減少を補い、前年同期比114.0%と増収になりました。

### ●業務系ソフトウェア

金融業向けが好調だったものの、流通業向けなどの減少により、前年同期比98.6%と減収になりました。

### ●プロダクト・サービス

データ通信端末などの自社製品や、クラウド・仮想化サービスが堅調に推移したことなどにより、前年同期比108.6%と増収になりました。

### ●アウトソーシング

流通業向け取引の減少などにより、前年同期比95.5%と減収になりました。



# 連結損益計算書

(単位:百万円)

	2015年12月期	2016年12月期	前同差	前同比	2016年12月期	
	3Q累計実績	3Q累計実績			3Q累計計画	計画比
売上高	116,261	122,456	+6,194	105.3%	118,850	103.0%
売上原価	89,330	93,985	+4,655	105.2%	-	-
売上原価率	76.8%	76.8%				
売上総利益	26,931	28,470	+1,539	105.7%	-	-
売上総利益率	23.2%	23.2%				
販売費及び一般管理費	20,772	22,062	+1,290	106.2%	-	-
販管费率	17.9%	18.0%				
営業利益	6,158	6,407	+249	104.0%	6,210	103.2%
営業利益率	5.3%	5.2%			5.2%	
営業外収益	312	317	+4	101.4%	-	-
営業外費用	157	321	+164 ①	204.5%	-	-
持分法による投資損益	340	86	△ 254 ②	25.3%	-	-
経常利益	6,654	6,489	△ 165	97.5%	6,320	102.7%
経常利益率	5.7%	5.3%			5.3%	
特別利益	59	52	△ 6	88.9%	-	-
特別損失	386	171	△ 214 ③	44.4%	-	-
税金等調整前四半期純利益	6,327	6,370	+42	100.7%	-	-
法人税等合計	2,258	2,172	△ 85	96.2%	-	-
四半期純利益	4,069	4,197	+128	103.2%	-	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	506	593	+87	117.2%	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,562	3,604	+41	101.2%	3,640	99.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	3.1%	2.9%			3.1%	

## 損益計算書のポイント

### ① 営業外費用 (+164百万円)

円高による為替差損の増加

### ② 持分法による投資損益 (△254百万円)

エース証券に関する持分法投資利益の減少

### ③ 特別損失 (△214百万円)

子会社でのれん減損損失などがあったものの、前期に關係会社株式売却損を計上したため減少



# 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2015年12月期 期末	2016年12月期 3Q期末	前期末差
<b>流動資産</b>	55,032	63,680	8,647
現金及び預金	12,784	18,208	5,424 ①
受取手形及び売掛金	31,485	33,566	2,080 ①
有価証券	3,800	4,500	699
たな卸資産	2,326	2,196	△ 129
繰延税金資産	1,953	2,793	840
その他	2,683	2,415	△ 268
<b>固定資産</b>	98,800	96,073	△ 2,726
有形固定資産	67,013	66,121	△ 892
無形固定資産	6,273	5,632	△ 640
投資その他の資産	25,513	24,320	△ 1,193 ②
<b>資産合計</b>	153,833	159,754	5,921
<b>流動負債</b>	27,556	31,988	4,432
支払手形及び買掛金	7,625	8,726	1,101 ①
短期借入金	3,967	5,001	1,033 ①
コマーシャル・ペーパー	-	-	-
未払費用・賞与引当金	5,820	8,039	2,219 ③
未払法人税等	1,210	2,144	933
工事損失引当金	107	196	89
その他	8,825	7,880	△ 944
<b>固定負債</b>	22,197	21,644	△ 553
長期借入金	11,242	11,348	106
その他	10,955	10,295	△ 659
<b>負債合計</b>	49,754	53,632	3,878
<b>純資産合計</b>	104,078	106,121	2,042
<b>負債純資産合計</b>	153,833	159,754	5,921

## 貸借対照表のポイント

- ① 現金及び預金 (+5,424百万円)  
受取手形及び売掛金 (+2,080百万円)  
支払手形及び買掛金 (+1,101百万円)  
短期借入金 (+1,033百万円)

売上・仕入の増加や、設備投資に関する資金調達  
の増加

- ② 投資その他の資産 (△1,193百万円)

投資有価証券の時価評価額の減少

- ③ 未払費用・賞与引当金 (+2,219百万円)

人員増及び季節要因による増加



# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2015年12月期 3Q累計実績	2016年12月期 3Q累計実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,095	8,732	+3,636
投資活動によるキャッシュ・フロー	84	△ 2,716	△ 2,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,069	1,350	+6,420
現金及び現金同等物に係る換算差額	41	△ 432	
現金及び現金同等物の増減額	152	6,933	
現金及び現金同等物の期首残高	16,135	15,688	
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	△ 61	-	
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,226	22,622	

## キャッシュ・フローのポイント

### ●営業活動によるキャッシュ・フロー

8,732百万円の収入となりました。なお、前期は決算期変更に伴う法人税等の支出増加などもあり、5,095百万円の収入でした。

### ●投資活動によるキャッシュ・フロー

自社製品（ソフトウェア）や設備への投資などにより、2,716百万円の支出となりました。なお、前期は有価証券の償還や関係会社株式の売却などがあり、84百万円の収入でした。

### ●財務活動によるキャッシュ・フロー

設備投資に関する借入や子会社株式の売却などにより、1,350百万円の収入となりました。なお、前期は借入金の約定返済などにより、5,069百万円の支出でした。



# 連結 S I 事業の受注高・受注残高

(単位:百万円)

	2016年12月期 3Q累計実績							
	期首受注残高	前同比	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比
SI事業 合計	30,688	106.8%	117,261	107.5%	114,145	105.5%	33,803	114.2%
システム構築	20,683	105.8%	69,174	107.3%	67,437	106.1%	22,419	109.8%
組込系/制御系ソフトウェア	8,987	108.3%	36,011	115.2%	35,040	114.0%	9,959	112.8%
業務系ソフトウェア	11,695	104.0%	33,162	99.9%	32,397	98.6%	12,460	107.5%
プロダクト・サービス	10,005	108.9%	48,087	107.8%	46,708	104.7%	11,384	124.0%
プロダクト・サービス	7,843	120.7%	34,470	109.1%	34,139	108.6%	8,174	122.8%
アウトソーシング	2,161	80.2%	13,616	104.8%	12,568	95.5%	3,210	127.3%

## 受注高・受注残高のポイント

### ● システム構築分野のポイント

- ・組込系/制御系ソフトウェア  
自動車やFAなど機械制御系の受注が好調に推移し、期末受注残高は前年同期比112.8%となりました。
- ・業務系ソフトウェア  
官公庁や金融業での受注が好調に推移し、期末受注残高は前年同期比107.5%となりました。

### ● プロダクト・サービス分野のポイント

- ・プロダクト・サービス  
ライセンスビジネスの好調などにより、期首受注残高が高水準だったこと、データ通信端末などの受注が増加したことなどにより、期末受注残高は前年同期比122.8%となりました。
- ・アウトソーシング  
流通業向け取引の減少により期首受注残高が前年を下回っていたものの、官公庁向けの大型案件受注により、期末受注残高は前年同期比127.3%となりました。



## BYOD推進企業



※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性があります。

また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、併せてご理解いただきますようお願い申し上げます。